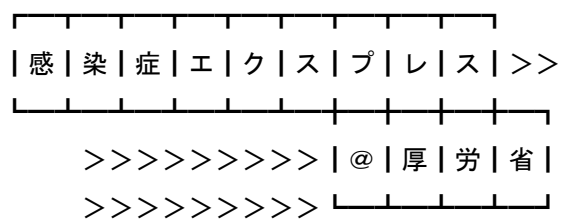
感染症情報を医療者へダイレクトにお届けする、厚生労働省のメールマガジン



Vol.510（2024 年 4 月 15 日）

■ヘッドライン■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

【トピックス】

◆ゴールデンウィークの海外渡航時に気をつけたい感染症について

◆マダニ（ダニ媒介感染症）にご注意ください

【新型コロナウイルスについて】

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

【風しんの追加的対策へのご協力をお願いします】

◆2025 年 3 月 31 日までの 3 年間に限り、風しん抗体検査・予防接種を公費で受けられます

※風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関更新しました（2024 年 3 月 21 日時点）

【感染症発生情報】

◆2024 年第 13 週（第 13 号）(2024 年 4 月 3 日）

◆IASR　Vo.45,No3(No.529)(2024 年 3 月発行)

◆厚生労働省検疫所（FORTH）：海外の感染症情報

（2024 年 3 月 4 日～2024 年 4 月 1 日掲載）

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

トピックス

◆ゴールデンウィークの海外渡航時に気をつけたい感染症について

来るゴールデンウィークには海外旅行を予定されている方もいらっしゃるかと思います。

また医療従事者の方で、そうした方から、注意すべきことについての相談を受けることも少なくないかと思います。

今回の感染症エクスプレスでは、海外渡航時に気をつけたい感染症と予防について取り上げます。

海外では、国内に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、

海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けて、海外渡航のための

ワクチンも含めて渡航前の準備を万全にすることが重要です。

検疫所の公開しているお子様と海外にお出かけされる方向けコンテンツ「クアランの海外旅行 Q&A」では、

海外旅行における感染症予防のポイントをクイズ形式で紹介しておりますので合わせてご覧ください。

○食べ物や水を介した消化器系の感染（A 型肝炎、腸チフスなど）

・食事は十分に火の通った信頼できるものを食べるようにし、生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは
避けましょう。また、A 型肝炎については国内で承認済みのワクチンの接種で予防することができます。
・また、ゴールデンウィークの期間は、東南アジアでは雨季の地域もあります。
こうした地域では、水で媒介される感染症（レプトスピラ症やＥ型肝炎、コレラなど）にも注意が必要です。

〇蚊を介した感染症（マラリア、デング熱、日本脳炎、黄熱など ）
・蚊から感染する感染症には、マラリアやデング熱、日本脳炎などがあります。
病原体を媒介する蚊が生息する熱帯・亜熱帯地域では、できるだけ肌を露出せず、虫除け剤 を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
・黄熱が流行する地域などでは、入国に際し黄熱予防接種証明書（イエローカード）を求められることがあるので、渡航前に
確認が必要です。

〇ダニを介した感染症（リケッチア症、ライム病、回帰熱、ダニ媒介脳炎、重症熱性血小板減少症候群　）
・病原体を媒介するダニが生息する地域で、草むら、ヤブ などに入る場合は、肌の露出を少なくし、虫除け剤も必要に応じて
使用ください。（詳細は「マダニ（ダニ媒介感染症）にご注意ください」の記事をご覧下さい） 」

◯動物を介した感染症（狂犬病など）
・動物についてもどのような病原体を持っているか分からないことが多く、重篤な感染症の原因となる病原体を持っている
可能性もありますので、むやみに動物に近づかない、動物に触れないことが大切です。

〇人から人に広がる感染力の強い感染症（麻しん、風しんなど）
・ 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。
・特に現在、海外で流行が報告されている麻しんは、海外からの輸入症例を契機とした国内における感染事例も報告されており、注意が必要です。（麻しんは「はしか」とも呼ばれ、高熱と耳後部から始まり体の下方へと広がる
赤い発しんを特徴とする全身性ウイルス感染疾患です。）

医療従事者の皆さまにおかれましては、海外渡航者への感染症に関する注意喚起に引き続きのご協力をお願いします。

・海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html
・海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所　FORTH）
https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html
・クアランの海外旅行 Q&A
https://www.forth.go.jp/Quaran/quaran-travel-Q&A.html

・黄熱に注意しましょう！（厚生労働省検疫所　FORTH）
https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/yellow_fever_certificate.html
・デング熱が流行しています！（厚生労働省検疫所　FORTH）
https://www.forth.go.jp/news/20230824_00001.html
・マラリアに注意しましょう！（厚生労働省検疫所　FORTH）
https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/useful_malaria.html
・麻しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html
・麻しんの国内外での増加に伴う注意喚起について（再周知）（令和 6 年 2 月 26 日）
https://www.mhlw.go.jp/content/001222287.pdf
・麻しん対策・ガイドラインなど（国立感染症研究所）
https://www.niid.go.jp/niid/ja/guidelines.html
・海外渡航者への麻しんの注意喚起（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/content/001221742.pdf

◆マダニ（ダニ媒介感染症）にご注意ください

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱、ツツガムシ病をはじめとするダニ媒介感染症を予防するためには、

マダニに刺されないようにすることが大切です。

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、農作業やレジャーなどで森林や草むら、ヤブなどに入る場合には

注意しましょう。長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または

登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、

肌の露出を少なくしましょう。

感染症法に基づく届出対象のダニ媒介感染症の患者を医師が診断した場合には、直ちに届出が必要となりますので、

医療従事者の皆さまにおかれましては、引き続きご協力お願いします。

また、本年 3 月には、本邦で初めてとなる SFTS ウイルスのヒト-ヒト感染（患者から医療従事者への感染）事例が

報告されたことから、SFTS 患者の診療の際には、感染予防策の徹底についてよろしくお願いします。

・厚生労働省：ダニ媒介感染症
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html

---

新型コロナウイルスについて

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

2024 年第 14 週（4 月 1 日～4 月 7 日）における定点当たり報告数は 4.26 （報告数 20,968 人）であった。

＜新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生動向調査　第 14 週（4 月 1 日～4 月 7 日）（'24/4/12 現在）＞

https://www.mhlw.go.jp/content/001243630.pdf

◆新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1

風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

◆風しんの追加的対策へのご協力のお願い

2018 年は、第 52 週（12 月 24 日～12 月 30 日）までに 2,941 例の届出があり、そのうち、2,881 例は 7 月 23 日以降の報告でした。

（確定値）

2019 年は、第 52 週（12 月 23 日～12 月 29 日）までに 2,298 例の報告があります。

患者の多くは、昨年同様 30～50 代の男性で、都市圏を中心に報告されています。（確定値）

2020 年は、第 53 週（12 月 28 日～翌年 1 月 3 日）までに 101 例の報告があり、患者の約 7 割は男性でした。（確定値）

2021 年は、第 52 週（12 月 27 日～翌年 1 月 2 日）までに 12 例の報告があります。（確定値）

2022 年は、第 52 週（12 月 26 日～翌年 1 月 1 日）までに 15 例の報告があります。

2023 年は、第 52 週（12 月 25 日～12 月 31 日）までに 12 例が報告されています。

2024 年は、第 13 週（3 月 25 日～3 月 31 日）までに 2 例が報告されています。

＜風疹　発生動向調査＞　2024 年第 13 週（'24/4/3 現在）

https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/rubella/2024pdf/rube24-13.pdf

◆IDWR　2024 年第 13 週（第 13 号）（2024 年 4 月 12 日）

＜第 13 週＞A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 2 週連続で減少した。

過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い／その他最新動向

＜IDWR　感染症発生動向調査週報＞

https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2024.html.html

◆インフルエンザの発生状況を公表しました（2024 年 4 月 12 日）

2024 年第 14 週（4 月 1 日～4 月 7 日）のデータを公表しました。

全国の定点医療機関当たり報告数は 5.10 となり、前週の 11.18 よりも減少しました。

＜インフルエンザに関する報道発表資料＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html

■海外の感染症発生状況

◆厚生労働省検疫所（FORTH）：海外の感染症情報（2024 年 3 月 4 日～2024 年 4 月 1 日掲載）

2024 年 4 月 1 日　子供向けにクイズや塗り絵などのコンテンツを新設しました！

https://www.forth.go.jp/kids/index.html

2024年3月18日　中東呼吸器症候群－サウジアラビア王国
https://www.forth.go.jp/topics/2024/20240318_00003.html
2024年3月18日　ニパウイルス感染症－バングラデシュ人民共和国
https://www.forth.go.jp/topics/2024/20240318_00002.html
2024年3月18日　オウム病－ヨーロッパ地域
https://www.forth.go.jp/topics/2024/20240318_00001.html
2024年3月4日　鳥インフルエンザA（H10N5）とインフルエンザA（H3N2）の重複感染－中華人民共和国
https://www.forth.go.jp/topics/2024/20240304_00001.html

SNSにおける情報発信

厚生労働省公式アカウント＜X（Twitter）、Facebook＞において、新型コロナウイルスをはじめ、
感染症に関するSNSを発信しています。
ぜひご登録ください。
X（Twitter）：https://twitter.com/MHLWitter
Facebook：https://m.facebook.com/Mhlw.Japan

＜2024年4月15日（月）発信＞　X（旧Twitter）
【#梅毒 の感染が拡がっています】
妊娠がわかったら、#先天梅毒 を防ぐために妊娠届を出して #妊婦健診 を受けましょう。
早い段階で感染がわかれば、早期の治療により赤ちゃんの感染リスクを下げられます。
1回の注射で赤ちゃんへの感染を防ぐことができる場合もあります。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/syphilis_qa.html

＜2024年4月15日（月）発信＞　Facebook
【梅毒の感染が拡がっています】
妊娠がわかったら、先天梅毒を防ぐために妊娠届を出して妊婦健診を受けましょう。
妊娠の早い段階で感染がわかれば、早期の治療により赤ちゃんへの感染リスクを下げられます。
1回の注射で赤ちゃんへの感染を防ぐことができる場合もあります。
リーフレットは厚生労働省ウェブサイトよりダウンロードいただけます。ぜひご活用ください。

■梅毒の感染が拡がっています（イラスト）
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001241899.pdf
■梅毒の感染が拡がっています（写真）
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001241894.pdf
■梅毒

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html

#梅毒
#先天梅毒

#妊婦健診

＜2024 年 4 月 15 日（月）発信＞　X（旧 Twitter）

【世界エイズデーキャンペーンテーマのテーマを募集中】

12 月 1 日の#世界エイズデーに向けたキャンペーンテーマを募集します。

応募締め切りは、5 月 13 日（月）

皆さま、ぜひご応募ください！

■詳しくはこちら

https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/camp2024_theme.html

＜2024 年 4 月 15 日（月）発信＞　Facebook

【世界エイズデーキャンペーンテーマのテーマを募集中】

12 月 1 日の#世界エイズデーに向けたキャンペーンテーマを募集します。

応募締め切りは、5 月 13 日（月）

皆さま、ぜひご応募ください！

■詳しくはこちら

https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/camp2024_theme.html

「世界エイズデー」とは

世界レベルでのエイズまん延防止と、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、

1988 年に WHO が、毎年 12 月 1 日を「世界エイズデー」と制定。

■詳しくはこちら

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/index.html

＜2024 年 4 月 12 日（金）発信＞　X（旧 Twitter）

■新型コロナ・インフルエンザ発生状況

第 14 週(4 月 1 日～4 月 7 日)の定点当たり報告数は # 新型コロナ は 4.3 で 9 週連続減少(昨夏ピーク 20.5)、

インフルエンザ は 5.1 で 3 週連続減少（過去 5 年のピーク 57.2）しました。

今後も感染対策をお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/houkokusuunosuii.htm

＜2024 年 4 月 5 日（金）発信＞X（旧 Twitter）

■新型コロナ・インフルエンザ発生状況

第 13 週(3 月 25 日～3 月 31 日)の定点当たり報告数は # 新型コロナ は 5.1 で 8 週連続減少(昨夏ピーク 20.5)、

インフルエンザ は 11.2 で 2 週連続減少（過去 5 年のピーク 57.2）しました。

今後も感染対策をお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/houkokusuunosuii.html

■――■

『感染症エクスプレス＠厚労省』の登録・変更は、ご自身のアドレスでのみ可能です。

配信先の変更は、不要になったアドレスを配信停止いただき、新しいアドレスで新規に登録をお願いします。

※携帯電話等のキャリアドメインは登録できません。

●新規登録・配信停止・配信先変更

http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/

●バックナンバー

http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/backnumber/

●お問い合わせ（登録の変更は上記にて承ります）

https://mhlw.asp.3mail.jp/inquiry/

●メールマガジン内容に関するご意見

kansenshomail@mhlw.go.jp